

お茶の時間 心に響く言葉 3

第 117号 2014.5.14 (1)

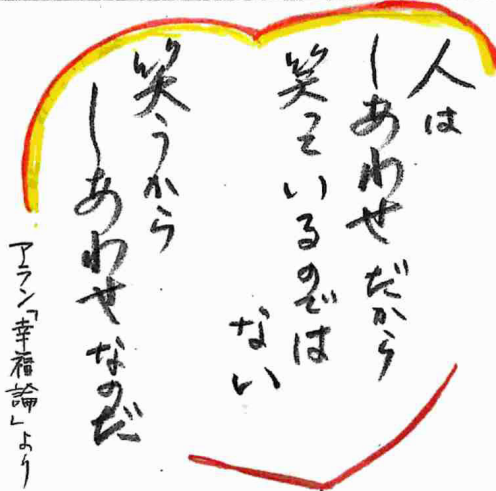
第 116号 2014.1.26 (1)

「今日の日は十よゆうなう」という歌の一番目の歌詞「明日の目と夢をみて希望の道と」と続く。
もう二十年近く合コンしていないが、たまに携帯メールを受信する友がいる。たわい無い内容だがホントワリ暖か。若いままの友の顔の浮かぶ。友だちってホントいいね。



ここに響く言葉

「笑う門には福来たる」今年もそう心掛けて暮らしていききたい。

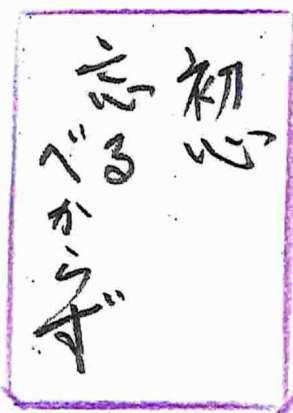


ここに響く言葉

第 119号 2014.9.15 (1)

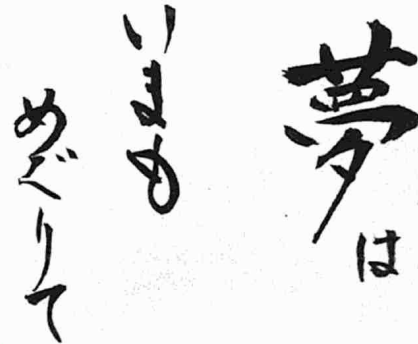
第 118号 2014.6.12 (1)

未熟であった時の最初の試練や失敗こそが「初心」という言葉の本当の意味だと、世阿弥の言葉の中で能楽評論家の土屋重一郎さんが述べているような。
初めに思い立つ心、とか、やる気に満ちた初々しい心持、とこの意味で使っていたけれど。
世阿弥の言葉は、奥が深い。



心に響く言葉

振り返る月日が多くなくなり、あんなこと、こんなこと、とめぐりばかり。



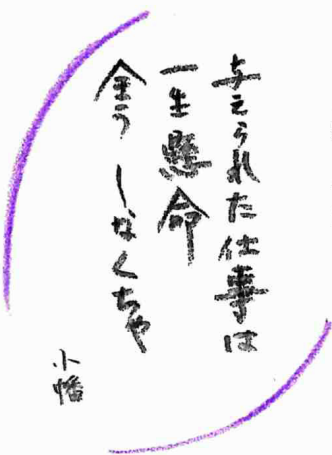
言葉は心

第 121号 2015.4.29 (1)

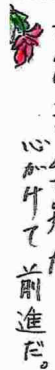
第 120号 2015.2.1 (1)



友人が、副市長職を引き受けたことを新聞で知り、お祝いメールした折の返信だ。
もう随分昔になるが、「現れ込んでばかりいた私に、笑顔には笑顔が寄ってくるんだよ」と励ましてくれた。その友人の職場の女性が、家庭内のもめ事か何かで悩んでいた時のことを話してくれた。私の心にも響き、忘れられない言葉となった。
越後人は我慢強い性格と言われ、根性を大いに発揮することだ。



ここに響く言葉



新しい年を迎え、これぞこれからを思い描いたことだろう。
振り返った時の人生の長さは多くなつたか、まだまだ「これからだ、これからだ」と念じてこの一年も頑張ってみようか。
生涯現役の戦国武将・家康は分業で七ヶ倉まで質素な食事を日課とし、麦めし、野菜たっぷりの味噌汁、丸子の塩イワシだった。と食文化研究家の永山久夫さんのコラムで知った。
心かけて、前進だ。



ここに響く言葉

第 123号 2015.12.25 (1)

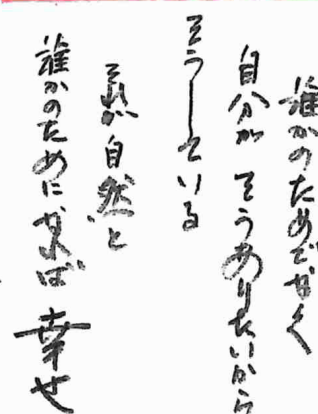
第 122号 2015.8.9 (1)

吉田憲司さん(JAXA航空機、技術部門プロジェクトマネージャー)の言葉。
者よりも速い飛行を実現するために取り組んでいる。
夢の世界は身近かになってきた。



心に響く言葉

友人のお嬢さんから十年程前に復職した五行詩。
以前紹介したか、フッと思ひ出し、今回このコーナーに載せた。
何事にも真剣、素敵な女性だ。
金井則子さん。今は甲子代、二児の母である。



ここに響く言葉